

総務文教常任委員会道内行政視察報告2

平成26年7月28日～30日 恵庭市、札幌市、新十津川町

恵庭市の行政視察の内容については、平成26年11月発行の議会報152号で報告しましたが、残る札幌市、新十津川町の行政視察について報告します。

○参加者

白馬委員長 佐藤副委員長 茂呂竹委員 谷川委員 篠原委員 鹿中議長

学校図書館地域開放事業について

札幌市

昭和53年にスタート。PTA、教員、市民ボランティアが中心となり、市内204校の小学校のうち106校の小学校が学校の図書館を開放し、読み聞かせ、工作会、図書選定、講演会の開催、研修など活発な事業が営まれている。

事業の目的は、子ども・地域住民の読書活動の活性化、大人と子ども・大人相互の交流の場の拡大、地域で子どもたちを育むことによる地域の教育力の向上にある。

開放事業は各校のPTAに委託し、運営はPTA役員、教職員などが中心となって構成する運営委員会が行っている。「開放司書」と呼ばれるボランティアリーダーを中心に運営され、各学校の図書館、図書の選定、貸し出し業務、図書の管理と補修、子ども向けや大人向けのイベント、研修などを行っている。

セキュリティに関して、実施校すべてに監視カメラとインターホンを設置し、児童の玄関までの送り迎えも行っている。

学校跡施設再利用事業について

新十津川町

津別町に置き換えてみると、組織の立ち上げに課題は残るが、小学校が来春統合される

少子高齢化により、平成21年に4校の小学校を閉校し、全町を1学区とした新しい小学校を開校。閉校した2校については再利用されている。

旧吉野小学校のある地区のここ数年の状況は、公共的施設の廃止、撤退による地域活力の減退が見られている。小学校の閉校はやむを得ないにしても校舎自体がなくなることは地域住民の抵抗感が強い、というものである。横須

ことから津別小学校の蔵書量も増し、一般書を公民館などから補充すれば、中央公民館図書室の補完機能を持たせることは可能と思慮される。

賀市在住の彫刻家から「新十津川アートの森」構想が提案され、町として文化施設アートの森体験施設「かぜのび」として再利用することにより地元住民の心の支えとなるべく、補助金を活用し再整備を行った。

旧花月小学校については、町営の特別養護老人ホームと知的障がい者更生施設を平成19年に民間移譲したが、施設が老朽化していたため、移転先として花月小学校が選定され再利用された。両施設を経営する社会福祉法人が、障がい者の就労支援事業所として運営している。

建物は無償譲渡、土地は30年間無償貸与している。再利用に当たり建物が老朽化していたこともあり、改修や取り壊しなどの費用を町が助成している。



新十津川町の「かぜのび」

～ 議会の録画配信を開始 ～

インターネットを利用した定例会の録画配信を開始しました。町のホームページにアクセスしてご覧ください。

津別町ホームページ<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/> から「議会インターネット中継」をクリック。

常任委員会 特別委員会



こども園建設現場の視察

総務文教常任委員会

第5回（11月14日）

- ・町内視察結果について
- ・職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について
- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ・職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・恵和福祉会特別養護老人ホーム等への支援について

第6回（12月4日）

産業福祉常任委員会

第5回（11月14日）

- ・社会保障事業基金条例の制定について
- ・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について
- ・第5次総合計画後期実施計画について
- ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- ・町立学校設置条例の一部改正について
- ・津別小学校の改修について

第6回（12月5日）

- ・町内視察結果について
- ・森の健康館（ランプの宿森つべつ）の運営について
- ・上下水道運営審議会条例の一部改正について
- ・町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・町有住宅料の見直しについて
- ・森の健康館（ランプの宿森つべつ）の運営について
- ・家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議会運営委員会

第11回（11月17日）

- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- ・福祉灯油等購入費助成事業の実施について

第7回津別町議会臨時会の運営について

- ・平成25年度各会計決算の認定について

第12回（12月11日）

- ・第8回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

第13回（12月16日）

- ・第8回津別町議会定例会の運営について

第14回（12月17日）

- ・第8回津別町議会定例会の運営について

第1回（1月16日）

- ・第1回津別町議会臨時会の運営について

議会広報特別委員会

第10回（1月19日）

- ・議会報153号の編集について

町長行政報告

報告された事項

第7回臨時会 （11月19日）

- あんしん生活サポートセンター「ほっと」の開所式
- まちづくり懇談会
- 平成26年度津別町功労者・善行者表彰式
- 筑波大学と連携した「まちなか再生事業」
- 北海道社会貢献賞の受賞
- 町有林オフセット・クレジット（J・V E R）購入者への感謝状の贈呈
- 国営農地再編整備事業中央要請

第8回定例会 （12月17日）

- 平成26年度優良PTA文部科学大臣表彰
- 北海道日本ハムファイターズ市町村応援大使
- 北見赤十字病院の本館竣工式
- 全国木のまちサミット
- 台湾二水郷郷長選挙
- 活汲小学校及び本岐小学校の閉校式典
- 生活協同組合コープさっぽろとの高齢者等見守り協定

議会日誌

10月

- 21日 石川県穴水町議会視察来町
23日 北網ブロック町議会議員研修会(小清水町)
24日 第2回決算審査特別委員会
26日 東京つべつ会総会(東京都)
28日 オホーツク圏活性化期成会秋季要望(札幌市)

11月

- 5日 北網ブロック市・町議会正副議長会議(津別町)
11日 国営農地再編整備事業中央要請(東京都)
12日 町村議会議長全国大会(東京都)
14日 第5回総務文教常任委員会
第5回産業福祉常任委員会
17日 第11回議会運営委員会
19日 第7回津別町議会臨時会
第4回全員協議会
29日 活汲小学校閉校式

12月

- 4日 第6回総務文教常任委員会
5日 第6回産業福祉常任委員会
7日 本岐小学校閉校式
11日 第12回議会運営委員会
16日 第13回議会運営委員会
17~24日 第8回津別町議会定例会
17日 第14回議会運営委員会
24日 第5回全員協議会

1月

- 3日 新年交礼会
16日 第1回議会運営委員会
19日 第10回議会広報特別委員会

意見書

関係行政庁へ
提出しました

■必要な介護サービスを受けられるよう求める意見書

【要旨】

6月に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立した。

要支援者の訪問介護と通所介護が介護予防給付から外され、特別養護老人ホームの新規入所対象を原則要介護3以上に制限、一定以上所得者の介護サービス利用料の2割負担への引き上げ、低所得者の施設入所の居住費、食費を軽減する補足給付を制限するなど、これまでにない負担と給付制限が加えられようとしている。

誰もが必要な介護サービスを受けられ、介護保険料の負担を軽減し、介護サービスの基盤整備を図るため、下記事項について要望する。

1. 要支援者・要介護者へのすべての介護保険サービスをこれまでどおり継続すること。
2. 介護報酬を大幅に引き上げるとともに、国の責任で介護職員の確保・処遇改善のための施策を早急に講じること。
3. 介護保険料の値上げを抑え、介護の基盤整備を推進するため国は自治体に必要な財源を援助すること。

■安全・安心の医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書

■年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

■平成27年度畜産物価格決定等に関する意見書

■後期高齢者医療制度の「特例軽減措置」の継続を求める意見書

は ぐ る ま

去る11月22日、北海道日本ハムファイターズの抽選会で、津別町の応援大使に中田翔選手と大嶋匠選手が決定しました。1年間津別町の応援をしてくれるというワクワクする話です。日本ハムの地域密着戦略には学ぶべきものがあります。日本ハムは平成16年に本拠地を移転後、北海道に根ざす球団を作り上げていくことに腐心してきました。平成24年から創設された応援大使制度は、そうした戦略の一環だと思えます。道民と選手との距離を縮めることが狙いだっただけでしょう。見事です。

いま津別町にとって必要な議会改革とは、住民と議会の距離を縮めることだと考えています。一朝一夕には成し遂げられないかもしれませんが、日本ハムに習い、親しまれる広報を発行し、報告会を行い、住民と接する機会をたくさん創り出し、より多くの町民の方に津別町議会に関心を持っていただき、皆さまから寄せられる多くのご意見を議会で議論することにより、ワクワクする町をつくっていきましょう。

(佐藤)

歯 車